

保育士PR映像が完成!!

保育士の仕事って

こんなにステキ!!



市では、多様化する保育ニーズに対応するため、保育士確保を市全体の課題と捉え、保育のお仕事見学会やPRチラシの作成などのプロモーション活動を行っています。

今回は、保育や高山市の魅力を現場で働く保育士自らが伝えるPR映像「高山・保育園ストーリー」を制作しました。市内で働く3人の保育士が、保育士になったきっかけや保育の仕事の魅力、高山市の魅力など熱い思いを語っています。保育の仕事に興味のある方、保育士になるため勉強している方、保育士の資格をお持ちの方など、保育の仕事に携わるきっかけの一つになれば幸いです。ぜひご覧ください。

園生活でのほいっポイント

保育の魅力の一つである園生活でのほいっするエピソードの一部をご紹介します。

2歳児「大きなつるを見つけたよ」

散歩先でつるを見つけた、「おおきなかぶみたいや」と言っておひろが「おひろが、おひろが」とおなべに砂を入れおたまでかき混ぜる。Bちゃんが近づいてきてカレー作りに加わり葉っぱを投入。二人で鍋をのぞき込み、「うわぁーいい匂い」と言っておひろを見合わせ「うわぁー。皿に盛りつけ運ばれてきたカレーを「おいしい」と言っておひろを真似をする保育士を見てまたまたほいっの二人でした。

3歳児「カレー屋さん」

砂場でAくんがカレー屋さんを開店。保育士が「素敵なお店だね。カレー一つくたさい」とおひろが「おいしいよ、ちよつと待つと」とおなべに砂を入れおたまでかき混ぜる。Bちゃんが近づいてきてカレー作りに加わり葉っぱを投入。二人で鍋をのぞき込み、「うわぁーいい匂い」と言っておひろを見合わせ「うわぁー。皿に盛りつけ運ばれてきたカレーを「おいしい」と言っておひろを真似をする保育士を見てまたまたほいっの二人でした。

子どもたちとともに楽しい!うれしい!が体験でき、我が子でなくても成長を保護者とともに喜び合えるのは保育士の特権です。



5歳児「カマキリと稲刈り」

稲刈り体験をした日、くくんがカマキリを発見。「カマキリ何しとるんかなあ?」とほいっでじつと見た後、「カマキリも鎌もつとるで稲刈りにきたのかもしれんな」の言葉に保育士が共感すると、まわりにはいた子どもたちも「稲刈りにきたんや」とほいっしながらカマキリをじつと見ていました。

「たかやまっ子」を育てています

保育園の役割として、保護者の労働を支えるだけでなく、地域社会の機能も含めて子どもをしっかり育てる役割が求められるようになり、保育士はさらにやりがいのある職業となりました。

高山には、人を受け入れる包容力を感じます。それは高山という地が元々兼ね備えている“郷土力”と言えるのではないのでしょうか。

私たち保育士は、これからも“郷土力”を信じ、保護者や地域の方とともに、真の郷土愛に満ちた次世代の育成に努めてまいります。

たかやまっ子がまってるよ!

高山 保育園ストーリー!

市ホームページまたは、市公式 YouTube からご覧いただけます。

子育てワンポイントアドバイス

「葛藤する子ども」に寄り添う

「葛藤」は心のなかで同時に相反するふたつの欲求が存在し、どちらにしてよいか決めかねている状態を言います。

子どもたちの生活のなかにもその姿はたくさん見られます。子どもの自我の発達が進み、「こうしたい」「こうしたくない」という自分の思いが強くなるからこそ、その思いがもつれてからまってどっちすることもできなくなります。この姿を一番象徴しているのが子どものイヤイヤ期です。

葛藤する子どもを丸ごと愛着関係にある大人が受けとめることで、子どもは安心感を支えに、自己決定力を育むことができますようになります。

夜間保育所「ぱじゃま」をご存じですか?

保護者の夜間の就労などにより家庭で保育できないお子さんの保育を行っています。

利用を希望される方は、登録申請および利用申請が必要です。

- 場所 総合福祉センター2階(昭和町2)
- 開所日 月曜日~土曜日 (祝日・年末年始を除く)
- 開所時間 16:30~22:30
- 対象児童 満1歳から就学前の児童
- 受入定員 1日10人
- 利用料 1人1回1,000円
- 食事 弁当持参 (実費により施設での手配も可)



※詳しくはお問い合わせください。

問合 夜間保育所 ☎36-2288